

会議録

会議名	嵐山町子ども・子育て会議						
開催日時	平成30年12月19日（水）		開会	午後2時00分			
			閉会	午後3時10分			
開催場所	嵐山町役場 町民ホール						
会議次第	1. 開会 2. 委嘱状交付 3. あいさつ 4. 議題 1) 嵐山町子ども・子育て支援事業計画平成29年度事業計画評価について (1)子ども・子育て支援事業の実施状況および審議について (2)次世代育成支援行動計画事業の実施状況および審議について 2) 第2期子ども・子育て支援事業計画策定について 3) その他 5. 閉会						
公開・非公開の別	公開	傍聴者数	0人				
非公開の理由 (非公開の場合)							
委員出欠状況	会長	奥田 定男	出	委員	小島 誠		
	副会長	田邊 明子	出	委員	和島 俊介		
	委員	青木 裕子	出	委員	井上 裕美		
	委員	権田 ひろみ	出	委員	西川 光治		
	委員	秋葉 正幸	出	委員	新井 吉孝		
	委員	日下部 敦子	出	委員	轟 麻実子		
	委員	池亀 竜行	出	委員			
	委員	池亀 聰美	出	委員			
	委員	遠藤 恵美	出	出席者14人 欠席者1人			
事務局	子育て支援課長 前田 宗利		子育て支援課副課長 菅原 広子				

次 第	顛 末
1 開 会	菅原副課長
2 委嘱状交付	(自席へ配布)
3 あいさつ	奥田会長
4 議 題	<p>1) 嵐山町子ども・子育て支援事業計画平成29年度事業計画評価について (1)子ども・子育て支援事業の実施状況および審議について 事務局より〈子ども・子育て支援事業評価調書〉について説明 委員>嵐丸ひろばの利用者が多い、これはすべて嵐山町民の利用ですか。 事務局>全体の6割が嵐山町民、3割が滑川町民、1割がその他の市町村になります。 委員>利用者に嵐山町民以外だからといって利用料金を負担してもらうのではなく、嵐山町と利用している町で協議して嵐山町に負担金を支払ってもらう方法を提案したい。 事務局>設置にあたり、嵐山町民以外は利用料を徴収する考えはありました が、駅構内という立地場所ということもあり、他の市町村の方が利用することも考えられるため、利用料金については徴収しないことで開設をしました。現在の利用状況をみると、町外の利用者が増えているので、今後利用料金等検討する必要もあると考えています。 委員>嵐山町はどういう理由で待機児童が多いのか。 事務局>出生数は減っている。共稼ぎ世帯が多くなっており、預ける児童も特に低年齢が増加しています。これから先、出生数は減少していくので、保育園を増やすのは難しい状況です。 委員>保育園としては、支援の必要な児童も多くなっており、保育士が不足している。町で対策をとっていただいているが難しい状況です。 委員>待機児童対策として、他市町村と連携できないのか。 事務局>すでに他市町村に管外協議しているところですが、在勤や通勤経路でないと入所は難しい状況です。</p> <p>(2)次世代育成支援行動計画事業の実施状況および審議について 事務局より子ども・子育て支援事業計画の「第5章 次世代育成支援行動計画」の平成29年度実績について説明 委員>子どもの雰囲気が変わってきた。スクールカウンセラー、さわやか相談員を配置しているようだが、どのくらいの頻度で対応していただいているのか。 委員>スクールカウンセラーについては、毎日対応しています。さわやか相談員については、菅谷中学校、玉の岡中学校を拠点にそれぞれ各1名おり、必要があれば小学校に出向いている状況です。 委員>駅前の太陽インキで実施していることも食堂や菅谷小学校で建設中の第三の居場所は、子ども・子育て支援事業計画に盛り込まれるのか。 事務局>子ども・子育て支援事業計画に盛り込むことになると想っています。</p>

	<p>2) 第2期子ども・子育て支援事業計画策定について 事務局より今後のスケジュールとニーズ調査について説明 事務局>今年度はニーズ調査を実施したい。アンケートの内容は前回と同様にしたいと考えています。</p> <p>2) その他 事務局>今後の予定は、1月にアンケートの内容を審議し、ニーズ調査を実施したい。 会議録署名人を指名させていただく、秋葉委員、日下部委員にお願いする。</p>
--	---

5 閉 会	菅原副課長
上記会議の顛末を記載した内容について、相違ないことを証します。	
平成30年12月21日	署名委員 <u>秋葉正幸</u>
平成30年12月25日	署名委員 <u>日下部敦子</u>